

今日から秋の彼岸に入りました。秋分の日（9月23日）を中日とする前後3日の7日間を「秋彼岸」と言います。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉通り、最近では日差しが和らいで、しのぎやすくなりましたね。この期間、お花とお線香、お水を抱えて、必ずお墓参りをいたします。森澄雄の句「ひとごゑのさざなみめける秋彼岸」—あちらこちらから聞こえる小さな話し声を「さざなみの音」にたとえています。帰宅して「お萩」（春は「ぼたもち」と呼びます）をいただくまでが、大切な時間となっています。

さて、前期がもうすぐ終わりますね。後期が始まるまで、この半年を静かに見つめ返してみてください。「もっとこうすれば良かったかな」「もう少しがんばれたかな」と思っている方は、今後更にのびていくことでしょう。また、がんばった部分に関しては、己をどんどん褒めて下さい。（自分で自分を褒めることは大事なことです。）そして、新たな課題や興味関心を持ったことには積極的に取り組んでいきましょう。後期も皆さんが笑顔で過ごせますよう、手を合わせ祈っております。



「つぶあん」を母と分け合ふ秋の昼 幸恵

